

創刊110周年記念

# 誇れるふるさと

## 24地区リレー

〈vol.8〉

〈小野④ 散策マップ〉

宇部市の北部に位置する小野地区。2005年にダム湖百選に選ばれた市の水源「小野湖」は、豊かな自然に囲まれ、国内でも有数のオシドリ飛来地となっている。住民の交流拠点・小野ふれあいセンター(①)を発着点に、周辺を散策してみた。



### 地域資源を有効活用「竹ラボ」

#### 小学校の裏手には梅林 児童がポイ捨て防止看板

同センター入り口を右に出た小野小(②)を過ぎると、竹資源を生かして地域を元気にする総合施設「竹LABO(ラボ)」

で、竹製品を扱うエンジニアリングの研究所、竹関連の品を設置した「竹のミュージアム」などを設けている。竹ラボを過ぎて、小野郵便局(④)を右折。国道490号の新雑佐川橋



道490号の新雑佐川橋(⑤)を渡れば、右手に梅林(⑥)が見えてくる。小野小の校舎裏で、初夏には総合的な学習の一環として梅もぎの授業の場となる。かつては大量のごみが散乱していたため、今年3月に児童たちが自作のポイ捨て防止看板を設置。「自分たちの手で古里の自然を

守る」という強い思いを込めた。

2019年ほど歩くと、右側の土手に広茅神社(⑦)の鳥居が見え、すぐ近くには高さ約3メートルの厚東川ダム小野湖記念碑(⑧)がそびえる。同ダムは、県営の多目的ダムとして1950年3月に完成。以降、宇部・小野地域の飲料水や工業用水防炎に貢献している。

域の盛り上げにつながればと、プロの漫画家を目指して小野地区で共同生活を送る「漫画工房・樹本村塾小野グループ」のメンバーが2020年に協力し、描いた。野菜を手にする若者たちの姿が鮮やかな色合いで表現されている。

記念碑を後にし、小野スポーツ広場(⑨)を過ぎて右折。200メートルほど歩いてさらに右に進むと「レインボウ・おの朝市」と書かれた壁画2枚(⑩)が視界に飛び込んできた。朝市はJA山口県宇部統括本部女性部小野支部が毎月第1、3日曜日にガソリンスタンド跡地で開いている。壁画は地

小野地区には県内最大の茶の産地「藤河内茶園」、カヌーやキャンプ体験、春にはシバザクラが観賞できる交流拠点施設「アクトヒレシのおの」の他、長州藩初代藩主・毛利秀就公の生誕地など数多くの史跡が点在。名所を徒歩で回るのは困難だが、ドライブがてら名所巡りを楽しんでほしい。

次回西宇部地区。27日スタート。